

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

広報

とえだ

Soeda
Public
Relations



あけまして
おめでとう

ございます

今年も皆さんにとって、
いい年でありますように



JAN.2020

1

No.699

国指定重要文化財英彦山神宮奉幣殿を参拝する
添田町マスコットキャラクターのひこちゃん[㊞]とゆずちゃん[㊞]

Photo:第23回添田町フォトコンテスト 風景部門入選作品
「今川の源流」撮影地・油木ダム

あけましておめでとうござい
います。皆様方には穏やかな
年をお迎えのこととお慶び申
し上げます。町政を託されま
して2020年10年目を迎え
ます。少子高齢化社会の現実
がひしひしと迫る中において、
若者定住住宅の建設、出産育
児奨励金など町独自の施策を
行ってまいりました。

「賑やかな過疎」地域が注目
されています。住民の皆さん
がどこかで賑わいをつくって
いるというものです。英彦山
神宮をはじめ、上津野収穫祭、
木もくまつり、油木ダムを美
しくする会による清掃活動、
昨年からは始まった彦山川清
掃活動など、まだまだあるか
と思いますが、行政に頼らず地
域の皆さんが主役で「賑やか
さ」を作っています。その賑
やかさが連携し、添田町の大
きな賑わいになります。これ
までの交流人口の増加施策に
加え、添田町につきながりを持
とうとする人たちが、定住人口。
「関係人口」の増加施策を模索
します。集落のネットワーク
で賑やかさは作れると思っ
ています。縄文時代は定住ネッ
トワークの時代でした。

これからは、国立歴史民俗
博物館・総合研究大学大学院

ネットワークを広げる方法の
ひとつに婚姻があると言われ
ます。婚姻関係が様々な村と
結び、村と村はつながってい
ったのです。縄文時代の人た
ちの生活や食料ですが、春は
わらびなどの山菜を採取、夏
には魚を捕り、狩猟は冬に行
いました。このような食糧調
達を年間を通して計画的に行
っていました。野ウサギやア
ナグマ、タヌキ、キツネなど
も主要な食糧になったと考え
られますが、約8割はイノシ
シやシカです。縄文時代の人
たちは非常に重要な食糧源に
なっていたと思われま

遠い遠い昔の我々の祖先、
先祖の生活ですが、2020
年社会的・精神的文化の複雑
化を、今一度自然の中に身を
置き、まちづくりにおいても
生活なども、シンブルに考え
ることも必要ではないかと思
います。

「賑やかな過疎」、「小さな拠
点とネットワーク」、「関係人
口」、2020年のまちづくり
のキーワードです。皆さんが
健康で楽しく過ごせるまちを
一緒につくっていききたいと思
います。今年もよろしくお願
いいたします。

の山田康弘教授の著書『縄文
時代の歴史』などを参考にお
話します。添田町英彦山の
北側斜面に深く入り込んだ標
高550〜600メートルから発見さ
れた津野「ズイベガ原」遺跡が
あります。遺跡のそばは今川
の最上流部があり、英彦山豊
前坊のすぐ近くです。縄文時
代は定住革命であり、計画的
な集落景観の出現やインフラ
整備など発展してきました。
村をつくり、定住となると
多くの道具が必要となります。
石器を作ったり、土器を作っ
たり、動物を解体したりなど
です。縄文人は自然をそのま
まに利用するだけでなく、使
いやすいように改良していま
す。まさに現在の営みと同じ
です。生活に必要な石器を作
るためには黒曜石、祭祀に必
要な装身具を作るためにはヒ
スイなどの原料が必要になり
ます。これらはネットワーク
を通じて入手したのでしょう。
「ズイベガ原」遺跡などの津
野地域にある縄文遺跡では、
狩猟の矢じりなどに使う黒曜
石は、大分県姫島産のものがあ
ります。大
きなヒスイ
は遠く新潟
県産です。

↑津野の後遺跡から出土したヒスイの大珠。
このヒスイは新潟県のもものと判明した

添田町長 寺西明男



新年 年頭のごあいさつ

平成から令和へ

平成から令和へ元号が変わった2019年。
添田町ではたくさんのことがありました。
皆さんは、どんな1年でしたか。
ここでは、昨年の出来事をピックアップします。



9/13 J R日彦山線の復旧をめぐり、彦山地区総合センターで行われたJ R九州による説明会。J R九州は、B R T、バス、地元負担による鉄道の3案を説明しました。



7/31 建て替え工事の進む町営朝日ヶ丘団地で鉄筋コンクリート造3階建A棟とB棟が完成。B棟1階には福祉施設が併設、交流スペースはどなたでも利用できます。



6/17 防災パートナーシップに関する協定「締結九州朝日放送株式会社・添田町」災害時にいち早く、正確な情報を提供することを目的に地元放送局であるK B C九州朝日放送(株) (和氣靖代表取締役社長)と防災に関する協定を締結しました。

10

October

November

11

December

12

- 5日／国指定重要文化財「中島家住宅」工事見学会
- 6日／地区公民館対抗球技大会
- 12日／英彦山森林再生プロジェクト「英彦山植樹祭」
- 17日／踏破鍛錬「そえだ立志の道」(～18日)
- 18日／天皇陛下御即位奉祝記帳所設置(～25日)
- 26日／ふる里まつり(～27日)
- 2日／添田町総合文化祭(～3日)
- 6日／町内小学校音楽発表会
- 9日／今川流域市町村連絡協議会記念植樹
- 10日／英彦山男魂祭
- 15日／「英彦山庭園」が名勝として追加指定へ答申
- 17日／道の駅歓遊舎ひこさん開館20周年記念祭
- 23日／ふくおか県民文化祭「英彦山と筑豊の祭り」
- 24日／森林ふれあいツアー
- 24日／添田町少年の主張大会
- 29日／弓張岳線災害復旧工事完工
- 30日／ソエダみらい会議(仮称)キックオフイベント
- 30日／町立図書館絵本作家はたこうしろうさんとつくる「等身大のじぶんをえがく」ワークショップ
- 3日／人権講演会「伊藤真波さん」
- 3日／第4回添田町議会定例会(～6日)
- 17日／防犯交通安全もちつき・暴力追放住民総決起大会
- 24日／第24回添田町フォトコンテスト表彰式
- 27日／深倉川河川災害復旧工事完工

7

July

8

August

9

September

- 1日／学校空調設備設置(小学校5校・中学校1校)
- 5日／防災講演会「添田町における防災について」
- 12日／第1回住民と議会のカタリ場～未来会議～
- 21日／参議院議員通常選挙
- 25日／人権講演会「露の新治さん(落語家)」
- 25日／姉妹町北海道美深町へ親善訪問(～27日)
- 28日／子ども会球技大会
- 28日／J R日彦山線協議経過報告会
- 29日／添田町立小学校統合に関する説明会(全4回)
- 31日／朝日ヶ丘団地建替事業建築工事完工
- 2日／演劇公演共同開催事業「世襲戦隊カゾクマンⅢ」
- 2日／姉妹町北海道美深町教育交流受入事業(～5日)
- 3日／そえだ花火大会
- 11日／英彦山参道駆け上がり大会
- 10日／第3回添田町議会定例会(～20日)
- 13日／日彦山線に関するJ R九州による説明会
- 15日／添田町敬老会(～16日)
- 26日／秋の交通安全パレード・街頭キャンペーン
- 29日／英彦山サイクルタイムトライアル大会



←山の日の8月11日、英彦山参道駆け上がり大会が行われ、約290人が長さ800m、高低差160mの石段に挑みました

4

April

5

May

6

June

- 7日／福岡県知事・福岡県議会議員一般選挙
- 7日／2019油木ダム桜ウォーキング大会
- 10日／添田中学校入学式
- 11日／町内小学校入学式
- 23日／第4回日彦山線復旧会議
- 11日／添田神幸祭子ども山笠集結
- 13日／春の交通安全街頭キャンペーン
- 25日／英彦山山開き前夜祭
- 26日／英彦山山開き
- 1日／添田町佐藤知也給付型奨学金決定通知交付式
- 4日／第2回添田町議会定例会(～6日)
- 5日／東鳥越・金ノ原線道路災害復旧工事完工
- 8日／男女共同参画推進セミナー「わたしたちの防災講座」
- 8日／英峰塾開講式
- 17日／KBCと「防災パートナーシップに関する協定」を締結
- 28日／加茂橋橋梁改築工事完工



←4月7日、2019桜ウォーキング大会が行われ、桜舞い散る中、約500人が津野地区を歩きました

1

January

2

February

3

March

- 13日／添田町消防出初式
- 13日／添田町成人式
- 18日／添田中学校立志式
- 24日／小学校二分の一成入式(25日・26日・2月1日)
- 24日／第3回添田町立小学校の明日を考える会
- 28日／子ども議会
- 6日／第1回添田町議会臨時会
- 9日／SL人吉の客車で行く！日彦山線の旅！
- 9日／今川流域市町村連絡協議会環境講演会
- 17日／子どもまつり
- 23日／英峰塾閉講式
- 3日／オークホール開館30周年記念事業「熊谷真実と愉快な仲間！全員集合」
- 6日／第1回添田町議会定例会(～20日)
- 8日／添田中学校卒業式
- 15日／町内小学校卒業式
- 15日／第3回日彦山線復旧会議
- 15日／林道湯の谷・吉木線災害復旧工事完工
- 16日／第4回添田町立小学校の明日を考える会
- 23日／吉木のヤマザクラ「復興祈願モニュメントお披露目式」
- 23日／添田公園桜まつり(～4月7日)
- 25日／長谷川河川災害復旧工事完工
- 25日／神田・油木線道路災害復旧工事完工



11/30 添田町第6次総合計画の策定に向けて、皆さんと一緒に、添田町の未来について語り合う「ソエダみらい会議(仮称)」のキックオフイベントが行われました。



11/15 国の文化審議会は、名勝旧亀石坊庭園に、一帯にある6つの庭園を加え「英彦山庭園」と総称し、名勝として追加指定することを文部科学大臣に答申しました。



10/26 オークホール駐車場で行われた第32回ふる里まつり。添田町自慢のおいしい旬の味覚や伝統工芸品、美深町の特産品、ステージイベントなどで盛り上がりしました。



3/23 「復興のシンボルに」と願いを込め、吉木のヤマザクラで作られたモニュメント。多くの寄付者の皆さんと九州大学の知足美加子教授の手によって完成しました。



3/3 オークホール開館30周年記念事業の一環として開催された、そえだまち観光大使の熊谷真実さんらによる舞台公演。終了後のお楽しみ抽選会でも盛り上がりしました。



1/13 平成最後となった成人式には、新成人76人が参加。久しぶりに同級生と再会した皆さんは、それぞれの近況や懐かしい思い出話をし、旧交を温めていました。

●「添田町第二期子ども・子育て支援事業計画(案)」に関する

皆さんからの意見を募集します

パブリックコメントとは、町が政策などを形成する過程で、その政策の趣旨、目的、内容などを公表し、広く皆さんの意見を募集し、これを踏まえて町の政策を定めていく制度です。町では「添田町第二期子ども・子育て支援事業計画(案)」を作成、これを公表し、皆さんからの意見を募集して反映させるため、パブリックコメントを実施します。ただし、案に対する賛否を問うことを目的とはしていません。

■ 公表されている案

▶ 添田町第二期子ども・子育て支援事業計画(案)

■ 公表されている場所

▶ 添田町ホームページ ▶ 添田町保健福祉環境課
▶ 添田町立児童館 ▶ 添田町内各保育園、幼稚園

■ 意見書を提出できる人

▶ 添田町内に住所を有する人 ▶ 添田町内に事務所または事業所を有する個人、法人、その他の団体
▶ 添田町内の事務所や事業所に勤務する人 ▶ 添田町内の学校に在学する人 ▶ 添田町に納税義務のある人 ▶ 「添田町第二期子ども・子育て支援事業計画(案)」に利害関係のある人

■ 意見書の様式と記入すべき内容

◎意見公募用紙は添田町ホームページからダウンロードできます(任意様式可)

◎記入すべき内容

①件名(「添田町第二期子ども・子育て支援事業計画(案)」に対するパブリックコメント」と記入) ②住所、氏名(団体の場合は団体名) ③上記の「意見書を提出できる人」のどれに該当するか(利害関係がある人

の場合はその内容) ④意見や情報など(「添田町第二期子ども・子育て支援事業計画(案)」の該当ページ数や記載内容など、どの部分に対する意見なのか具体的に記入して下さい)

※住所、氏名などに記入漏れがある場合、意見として受け付けできません。

■ 意見書の提出方法

▶ 添田町保健福祉環境課へ①持参 ②郵送 ③電子メール(kosodate@town.soeda.fukuoka.jp) ④ファックスのいずれかの方法で書面にて提出してください ※電話や口頭での受け付けはしていません。

■ 募集期間

▶ 1月17日(金)まで

■ 意見などの公表

▶ 提出された意見は取りまとめ、意見の概要や提出された意見に対する町の考え方などとして、後日、添田町ホームページに掲載します。

●住所、氏名(団体名)は公表しません。また個別の回答は行いません。類似する意見など、まとめて公表する場合があります。



令和2年度

園児募集

●申込期間 1月14日(火)～1月24日(金)

保育園名	定員	電話番号
ひかり保育園(津野) ※休園中	30人	☎ 84-2171
たから保育園(中元寺)	30人	☎ 82-4576
くるみ保育園(落合)	45人	☎ 85-0374
みどり保育園(庄)	45人	☎ 82-0605
聖光保育園(添田)	50人	☎ 82-0257
真木保育園(真木)	116人	☎ 73-3216
宮城幼稚園(添田)	140人	☎ 82-2210

※休園中のひかり保育園については、入所希望が20人程度あった場合のみ開園となりますので、第2希望までご記入ください。

教育のひろば
そえだドリームプロジェクト

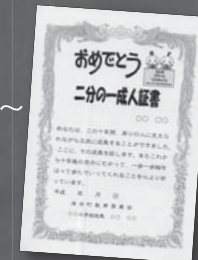
1月・2月は、小学校4年生を対象に二分の一成人式、中学校2年生は立志式を行います。立志式と二分の一成人式は、どなたでも見学できます。ぜひ、会場へお越しください。

成長の証、10年後の成人に期待を込めて

二分の一成人式

10歳という節目にあたる小学校4年生が、親への日ごろの感謝の気持ちや将来の夢を発表します。

◎各学校の二分の一成人式の日程

○落合小学校 1月24日(金) 13時20分～
○中元寺小学校 1月24日(金) 13時40分～
○真木小学校 1月24日(金) 14時5分～
○津野小学校 1月25日(土) 14時5分～
○添田小学校 2月10日(月) 14時～☎ 82-5963
☎ 82-2559

「そえだドリームプロジェクト」とは、夢や希望を持てるそえだの子どもたちの育成を目指し、“基本的生活習慣”や“勤勉・忍耐力”“志を持つ”という目標を掲げ、子どもたちの将来の夢や希望に向けた頑張りを応援する取り組みです。

中2の自分から20歳の自分へメッセージ

添田中学校立志式

中学校2年生が自分の思い描いた夢や希望に向かって努力する決意を表明します。二十歳になった自分へのメッセージとして手紙を書き、6年後に本人に手渡される予定です。

◎添田中学校立志式

▶ と き 1月17日(金) 14時40分～
▶ ところ 町民会館※今年度、講演はありません
▶ 内 容 「二十歳のキミへ」(代表者による発表)

●第35回添田町少年の主張大会／主催・添田町青少年育成町民会議

松川さんは添田町代表として、2月16日(日)に糸田町で開催される田川地区大会に出場します。

心に響け、
メッセージ

11月24日、オークホールで添田町少年の主張大会が行われました。町内小・中学校の7人による心響くメッセージに、会場からは惜しめない拍手が送られていました。審査の結果、添田中学校2年生の松川楓さんが最優秀賞に選ばれました。

真木小学校6年生
松井 結菜さん中元寺小学校6年生
堺 瞳子さん添田小学校6年生
宮田 美音さん添田中学校2年生
松川 楓さん添田中学校1年生
城戸 陽伽里さん落合小学校6年生
荒川 希咲さん津野小学校6年生
岩本 幸太朗くん



身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽に問い合わせください。



農業委員会へ、さらに女性の登用を

添田町農業委員会

添田町農業委員会（安藤一佳会長）は、県農業委員会女性ネットワークから、さらに女性農業委員を登用するよう要請を受けました。11月21日、女性ネットワークの吉武順子さん（宗像市）から要請書を受け取った安藤会長は「1月24日まで募集中の次期改選では、女性委員が増え、更なる活躍に期待したい」と語っていました。



↑要請書を受けとる安藤会長④と鈴見敏憲副会長④

お正月の準備、ミニおせちづくり

シニアパワーアップ塾

シニア世代の皆さんの豊かな知識や経験、技能を活かし、ボランティア活動などに参加するきっかけをつくるシニアパワーアップ塾。12月11日は、塾生35人が参加し、お正月に向けてのミニおせちづくりに挑戦。第1期から塾生の赤野妙子さん（添田中）から教わりながら黒豆ごはんや昆布巻き、きんとんなどを作りました。



↑今年で4期目。塾生の皆さんの活躍に期待します

女性のライフスタイルを豊かに彩る

高瀬優子さん作品展

東京やフランスを拠点に活躍する装飾アーティストの高瀬優子さんの作品展が11月29日から12月3日まで中元寺の実家で行われました。着物やアンティークビーズなど様々な素材のストールやバッグなど手作り作品のほか、着こなしやインテリア、料理など女性のライフスタイルを豊かにするデザインで飾られていました。



↑着こなしのアドバイスや料理の提案もしています

花が結んでくれた“きずな”に感謝

池坊 上半美智子 社中展

11月23日と24日、添田駅前通りのカフェ・クロマティックで、いけばな池坊の上半美智子社中展が行われました。90歳を迎える上半美智子さん（添田中）と社中の皆さんによる展覧会で添田町では、10年ぶりの開催。「いろいろな人が顔を見せに訪ねてくれるなど、花が結んでくれた“きずな”に感謝します」と話していました。



↑「懐かしい人が訪れてくれて感謝です」と上半さん

現在も地域の更生保護活動に尽くす

福島ミエ子さんに感謝状

更生保護婦人会で長年にわたり、ボランティア活動に努めている福島ミエ子さん（伊原）に法務大臣から感謝状が贈られました。福島さんは、犯罪者の立ち直し支援や青少年の非行防止、地域の子育て支援などのほか、毎年、地域の更生保護施設への生活支援物資の提供といった奉仕活動が認められ、今回の授与となりました。



↑現在も更生保護婦人会の活動続ける福島さん④

英彦山の厳しい冬を迎える準備進む

鷹巣原高原でススキ刈り

11月30日から12月初めにかけの3日間、英彦山の中腹標高約800メートルの鷹巣原高原で地域の皆さん8人が、ススキ刈りを行いました。高さ3mほどのススキが約6haにわたって生い茂った斜面で1列になって、草刈機を操作する皆さん。毎年、冬が訪れる前に行われ、刈り取った後は雪が降るとソリ遊びが楽しめます。



↑広大な鷹巣原高原で草刈機を手に作業に励みます

↓はたさんと一緒に手や足、服にも絵の具をたくさんつけながら、等身大の自分を表現しました



等身大のじぶんをえがこう

町立図書館ワークショップ

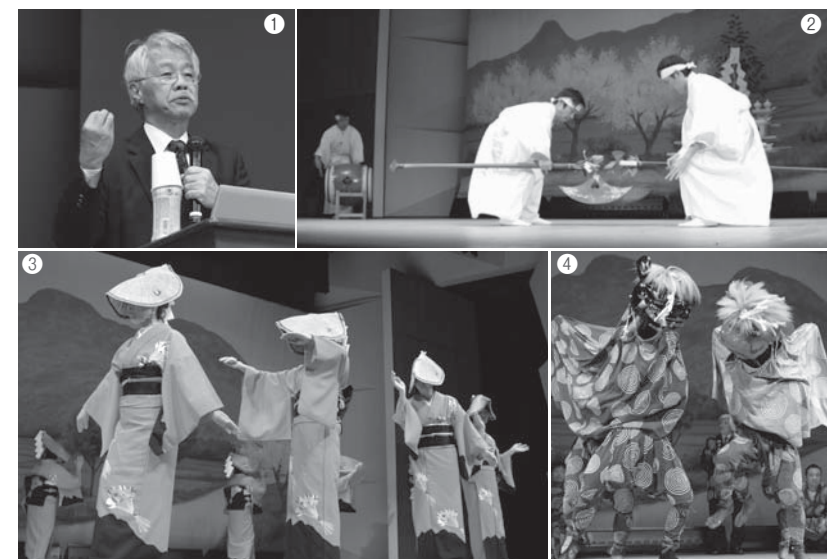
町立図書館で11月30日、絵本作家のはたこうしろうさんを迎えて「等身大のじぶんをえがく」ワークショップが行われ、3歳から小学6年生までの21人が参加しました。大きな紙の上で横になった子どもたちの身体の輪郭を鉛筆で縁取るのはたさん。子どもたちは、はたさんによって描かれたその等身大の自分の絵にたっぷりの絵の具を使い、好きなものや興味のあるものなど思い思いにえがいて、自分を表現しました。筆だけでなく、手や足に絵の具をつけて、大胆に自分を表現する子どもたちの姿に、はたさんは「元気いっぱいな絵をえがけている」と目を細めていました。

伝統ある筑豊各地の祭り集結

ふくおか県民文化祭2019

11月23日、県民の皆さんに文化・芸術を鑑賞、参加、創造する機会を提供する、ふくおか県民文化祭2019「英彦山と筑豊の祭り」が開催されました。お茶席が設けられ、祭りをテーマにした写真が展示された会場のオークホールには筑豊各地に伝わる太鼓や神楽など8つの民俗芸能が集結。添田町からは伝統ある英彦山鉦舞と優雅な彦山踊り、荒々しく力強い野田獅子楽と子どもたちによる楽打ちがステージで披露されました。また、町が進める歴史的風致維持向上計画の報告や別府大学文学部の段上達雄教授による「豊前地域の民俗芸能」をテーマにした基調講演も行われました。

↓①講演する段上さん ②歴史ある英彦山鉦舞 ③優雅に舞う彦山踊り ④力強い野田獅子楽



↓「大きく育ちますように」と願いを込めて、家族でヤマザクラとモミジを1本ずつ植えました



「大きく育て」家族で願い植樹

森林ふれあいツアー

町の豊かな森林に親しんでもらおうと11月24日、添田町林業クラブ（小田宣和会長）を講師に森林ふれあいツアーが行われ、町外の5家族20人が参加しました。午前中は、ひこさん花工房で植樹する木に取り付けるネームプレートに名前や日付けを書いたり、竹を切って食器やおはしを作ったりしました。午後からは、樹田地区の町有林でヤマザクラとモミジを「大きく育ちますように」と願いを込めて植えていました。



↑竹を切って昼食の食器づくりに挑戦です

1月生まれ HAPPY BIRTHDAY

♥3歳までのお子さん募集中です！2月生まれは1月17日迄までに連絡ください。 〆 役場総務課広報・秘書係／☎82-1231



3歳のお誕生日おめでとう！耕ちゃんと仲良く遊んでね！



お誕生日おめでとう！！いっぱいおしゃべりしていっぱい笑って過ごそうね☆



お誕生日おめでとう！元気にスクスク育ってね！

お子さんの写真掲載しませんか

Eメールでも、受け付けをしています。

Eメールは (koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp) まで送信してください。

多くの人に支えられ、前を向いて 人権講演会



↑専用の義手でバイオリンを弾き、「ふるさと」など2曲を披露

人権擁護啓発強調月間中の12月3日、オークホールで人権講演会が行われ、日本初の義手の看護師で、北京とロンドンパラリンピック競泳日本代表の伊藤真波さんが体験談を語りました。夢だった看護師になるため専門学校に通っていた18歳のときに事故に遭い、利き腕を右肩から切断した伊藤さん。絶望しましたが、家族など多くの人に支えられて義手を作り、リハビリに励みました。また、水着になり、無くした腕を見せることで多くの子どもたちに障がい者を身近に感じてもらうと競泳で世界に挑戦。現在は看護師として義手で注射もこなし、家庭では2児の母として家事、育児に奮闘しています。子どもの頃に習っていたバイオリンも専用の義手で弾き、この日は会場で披露しました。伊藤さんは「人は誰でも傷を持って生きている。守りたい人、守ってくれる人のために、前を向いて頑張ろう」と語りかけていました。

安全、便利なIHで料理に挑戦 IHクッキング体験教室



↑火を使わず電気で調理するので安心のIH器具

11月26日、オークホールでIHクッキング体験教室が行われ、約10人が参加しました。町は、九州電力から平成30年度に1台、今年度に2台のIHクッキングヒーターの寄贈を受け、オークホール調理室に設置しています。参加者は、九州電力ホームアドバイザーからIHクッキングヒーターの魅力や節約効果、便利な使い方の説明を受けながらチキンサンドやおニオンリングなどを調理していました。

みんなで守ろう！ 福岡の川や森 第16回ふくおか水もり自慢！in英彦山

オークホールで12月8日、「ふくおか水もり自慢in英彦山」が行われました。県内の水や森など水環境の保全に関わる活動を行う団体が一堂に会し、交流するもので16回目となる今回は初めて添田町で開催されました。大会では、九州大学大学院の知足美加子教授らによる基調講演の後、有川芳仁防災専門官が平成29年度の九州北部豪雨の状況などを報告。また、落合小学校児童による英彦山こてんぐ塾やアカザを守る会の武貞誉裕さんなど県内外の約40の団体が、川での活動内容などを発表しました。

まちのホットNews

「怒り」と賢く付き合おう 男女共同参画推進セミナー



↑「上手なしかり方をし、後悔しないで」と丸山さん

オークホールで11月30日、丸山啓太さんを講師に「怒りで後悔しないためのアンガーマネジメント講座」が開催され、約50人が参加しました。丸山さんは「日常生活での怒りは必ずあり、その正体は『こうあるべき』という自分の欲求や理想と現実とのギャップ。機嫌で怒るのではなく、叱るときの基準決めや相手への尊敬を示すなど上手な叱り方をして、後悔しないことが大切」と語っていました。



↑「英彦山の大自然で学んでいます」と元気に発表する英彦山こてんぐ塾

文芸歳時記



【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

満月を胸に至福の露天風呂	諫山 静香
山茶花の母に会うごと母の忌に	鈴鹿 雅子
山茶花の散り敷く紅に通る雨	安永 藻香
草穂 ほわた 絮風に吹かれて新天地	手嶋くみえ
十二月忘れて良き事悪しき事	武田 晴子
わが家には煙突がないクリスマス	池 三太
一年をまるくのみこむ新障子	西 加予
魂の行きはぐれたる冬野かな	大池みどり
【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】	
早稲の田に稲は重げに頭垂れ	大塚 富江
黄ばみ初めつつ秋待つ風情	五十嵐田鶴
空に向くメタセコイアは十本に	平井 朝子
雨上がり岩石山の峠まで	福富 廣枝
歩くに木葉の清けく揺らぐ	木村 寛子
盆栽は野生美添へむと一輪の	
絞り桔梗をとまどはず買ふ	
緑濃き山の空気に満たされて	
足取り軽く蝉時雨浴ぶ	

【俳句 投稿】

役目終へ田の神還り英彦眠る	伊勢村 稔
石炭の栄華は昔冬館	濱田イサオ
秋蝶の過りてよりの山の黙	島津余史衣
若やかなナースの声や今朝の秋	柴田 一世
下張りの祖父の絵に遭ふ古襖	斎藤智寿子
農道をせばめ飛火の曼珠沙華	天野ユキ海
戸隠の高原染むる蕎麦の花	立花 克明

【短歌 投稿】

老い先は命と金の点滅か	櫻木マサ子
こぼれ落つ涙恥づかし若き日を	独活山強実
暮らせし街に憶ひ湧く夜は	仲摩 直子
去年に兄今年に弟の旅立ちて	
老いて残りし身の淋しさよ悲しさよ	

【川柳 投稿】

オカリナの音色が響く宮の杜もり

梶谷 博子

●2月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します
1月17日迄までに役場総務課に連絡してください。
※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

〆 役場総務課広報・秘書係（☎82-1231）

学生の特例や免除制度もあります

新成人の皆さんは忘れずに
国民年金加入手続き

20歳になる誕生月に日本年金機構から、国民年金の加入手続きの通知、年金手帳、国民年金保険料納付案内書が同時に送付されます。年金手帳は生涯使用することとなりますので大切に保管してください。

なお、国民年金保険料の納付が困難な場合は、「学生納付特例」や「保険料免除・一部納付（免除）制度」の申請手続きをおすすめします。申請

を行わないまま保険料が未納になっていると、将来の年金額が減ったり、障害年金の申請要件を満たさなくなるなどの思わぬ事態を招きますので注意してください。免除申請の手続きは代理人でも可能ですが、窓口で本人確認を行いますので免許証などの本人確認ができるものを持参してください。

※令和元年10月から、厚生年金に加入していない20歳に到達する人は自動的に国民年金に加入するようになりました。

●学生納付特例制度

学生本人の前年所得が118万円以下の場合、20歳誕生月から翌年3月まで保険料納付が猶予されます。

▶申請に必要なもの

▷年金手帳 ▷印鑑（本人署名の場合は不要）
▷学生証（コピー可）または在学期間のわかる証明書 ※学生証についても在学期間が明記されているものでないと申請不可、通学している学校によっては免除の対象外となる可能性もあります。

●保険料免除・一部納付（免除）制度

「申請者本人」や「申請者の配偶者」などの前年所得などが定められた基準に該当することが必要です。

▶申請に必要なもの

▷年金手帳または納付書などの基礎年金番号のわかるもの ▷印鑑

※失業を理由にするときは、雇用保険被保険者離職票や雇用保険受給資格者証（いずれもコピー可）なども必要です。

☎ 役場住民課保険年金係（☎ 82-5966）
直方年金事務所（☎ 0949-22-0891）

期間 12月31日・1月1日～3日

町バス年末年始のお知らせ

一部区間
路線変更

期間中、神宮下へは乗り入れません。

【豊前坊行き】

別所駐車場 → ひこさんホテル入口

【JR彦山駅行き】

ひこさんホテル入口 → 別所駐車場

☎ 添田町バス（☎ 82-5580）

役場まちづくり課（☎ 82-1236）

第7回遠賀川流域リーダーサミット参加者募集

遠賀川流域で生活している多くの人の、リーダーサミット参加をお待ちしています。

▼とき 1月26日（日）13時～

参加費無料

▼ところ 宮若市文化センター（宮若市）

▼内容 首長などによるパネルディスカッション（まちづくりや防災・減災など）、遠賀川で活動する団体、子どもたち

公共職業訓練生（3月生）を募集します

離職などで再就職を希望する人を対象に、専門知識や技能を学ぶ6か月間の職業訓練です。

▼訓練期間 3月3日（火）～8月28日（金）

▼訓練科名 ものづくり溶接科

／定員15人

▼対象者 公共職業安定所（ハローワーク）に求職を申し込んでいる人

▼受講料 無料（教科書・作業着などは自己負担）

北九州視覚特別支援学校 幼児・生徒募集

▼入学検査 ▼幼稚園部 2月14日（金） ▼高等部 3月9日（日）

▼対象者 ▼幼稚園部 平成28年4月2日～平成29年4月1日に生まれた視覚に障害のある幼児 ▼高等部 専攻科理療科Ⅱ特別支援学校高等部、高等学校、中等教育学校を卒業した人か、令和2年3月に卒業

見込みの人、または学校施行法規則でそれと同等以上の学力があると認められた人

▼志願資格 両目の視力が概ね0.3未満の人または視力以外の視機能障がいが高高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形などの視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の人で、原則として保護者とともに県内に在住している人。

※医師の診断書（本校指定様式）が必要です。

▼募集期間 1月31日（金）～2月7日（日）

☎ 県立北九州視覚特別支援学校（☎ 093-651-5419）

自衛官採用試験

【第6回自衛官候補生】

▼試験日 1月26日（日）、または27日（月）

▼試験会場 陸上自衛隊小倉駐屯地（北九州市）

▼応募資格 日本国籍を有する18歳以上33歳未満の人

▼受付期限 1月14日（火）

【第7回自衛官候補生】

▼試験日 2月15日（土）

▼試験会場 陸上自衛隊小倉駐屯地（北九州市）

給食調理員を募集します

町立小学校に勤務する学校給食調理員を募集します。

▼勤務時間

（☎ 0948-22-4847）

▼子供たちにおいしい給食を、給食調理員を募集します

▼勤務時間

（☎ 0948-22-4847）

介護保険制度の事業策定委員会 住民代表委員募集

令和2年度は、第8期（令和3年度から5年度）介護保険事業計画策定の年度です。福岡県介護保険広域連合では、介護保険制

文化の力を再建へ

添田町文化連盟などで首里城再建義援金

度の適正な運営を図るため、事業計画策定委員会を開催します。この委員会では、住民（被保険者）の立場からさまざまな建設的な意見や提案を受けるため、保健・医療・福祉など各分野の委員とともに参画できる住民代

表の委員を募集します。

▼募集期間 1月20日（日）～2月18日（火）

※詳しくは問い合わせください。

☎ 福岡県介護保険広域連合事業課事業推進係（☎ 092-981-9076）

試験・募集

自衛官採用試験

添田町を元気に！

地域おこし協力隊通信

Vol. 16

お世話になった感謝を込めて

地域おこし協力隊
神吉隊員が退任しました

地域おこし協力隊 ジビエ振興・災害対策の神吉能宜です。11月末で任期満了し、添田町地域おこし協力隊を退任しました。

添田町との出会いは、前職を退職後学生時代に培った銃の技術を活かしてなにかやりたいと思い、見つけたのが「添田町地域おこし協力隊」でした。

はじめは狩猟とジビエの利活用に興味がありましたが、研修を受けたり、被害現場を見聞きたりしているうちに、興味が災害対策へと移っていきました。

退任後は災害関係の仕事を添田町で縁のあった会社に紹介してもらい、添田町を離れることになりましたが、添田町地域おこし協力隊として活動したことは間違いなく人生の大きなターニングポイントとなりました。自由に動くことを許してもらえた組織風土や町の

気風は過ごしやすく活動しやすく、最後に気持ちよく送り出してもらえることをとてもありがたく思っています。

3年間ありがとうございました。

（☎ 82-5966）

お知らせ

添田町プレミアム地域商品券有効期限は1月31日(金)まで

令和元年10月1日発行の「添田町プレミアム地域商品券」の有効期限は、令和2年1月31日(金)までです。期限を過ぎると使用できなくなりますので、必ず有効期限までに利用してください。また、未使用の商品券の返金(換金)はできません。



添田町商工会(☎82-0244)

生活応援券(プレミアム付商品券)の購入・使用はお早めに

消費税率引上げに伴うプレミアム付商品券(非課税者・子育て世帯分)の購入引換、使用の期限が近づいています。購入引換券を持っている人は、早めの購入と使用をお願いします。また、未使用の商品券の返金(換金)はできません。

▼購入引換・使用期限 1月31日(金)

▼使用可能店舗 添田町商工会(☎82-0244)まで問い合わせてください

確定申告のお知らせ

スマホからe・Taxでいつでも申告ができます。e・Tax(国税電子申告・納税システム)は、インターネットなどを利用して、確定申告や申請、届出などができる便利なシステムです。

【マイナンバーカード方式】

マイナンバーカードを利用して、e・Tax申告ができます。※ICカードリーダーが必須です。

【ID・パスワード方式】ID(利用者識別番号)とパ



人の動き

11月末日現在()は前月比

●人口	9,659人(-27人)	●出生	1人
●男性	4,576人(-10人)	●死亡	16人
●女性	5,083人(-17人)	●転入	9人
●世帯数	4,690世帯(-13世帯)	●転出	21人

相談

●心配ごと相談(そえだジョイ/10時~15時)

1月7日(四)、21日(四)

●補聴器相談(役場口ビー)

1月8日(四)(13時~)、10日(金)(15時~)

●無料法律相談会

(福岡法務局田川支局/13時~16時)

1月14日(四)、2月18日(四)

※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。

☎ 法テラス福岡(☎050-3383-5502)

●こころの健康相談(田川保健福祉事務所/予約制)

1月14日(四)(10時~)、23日(四)(14時~)

☎ 田川保健福祉事務所健康増進課(☎42-9307)

●女性の健康相談・不妊相談(福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所/要予約)

1月8日(四)、2月5日(四)(13時30分~16時30分)

☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係(☎0948-29-0277)

納期限のお知らせ

●1月31日(金)が納期限です

▷国民健康保険税(7期)

▷後期高齢者医療保険料(7期)

☎ 役場住民課税務・滞納対策係(☎82-1234)

事件事故発生状況

11月の事件発生状況 ()内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
オートバイ盗	0(±0)	0
性犯罪	0(±0)	1
車上ねらい	0(±0)	2
空き巣・忍び込みなど	1(+1)	3

11月の事故発生状況 ()内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
事故発生(物件+人身)	13(±0)	141
死亡者	0(±0)	2
負傷者	1(-1)	39

◇編集後記

▶あけましておめでとうございます。今年も広報そえだをよろしくお願いします。今月号の表紙は、英彦山神宮へ参拝に訪れた“ひこちゃん”“ゆずちゃん”です。撮影にご協力いただきました英彦山神宮、そして職場体験の田川高校生、ありがとうございました。(小林)

税金と保育料のあれこれ

納期限が過ぎました
納め忘れはありませんか

●町県民税・固定資産税・軽自動車税の納め忘れはありませんか

町県民税・固定資産税・

軽自動車税の各納期限が

過ぎました。

納め忘れのある場合は、早急

に役場会計窓口、または町指定金融機関で

納めてください。

住民課税務・滞納対策係では、滞納者に対して、滞納処分(預金の差し押さえ等)などの厳しい対応を行っています。

納付にあたり、納付書を紛失した場合は、税務・滞納対策係まで問い合わせください。

☎ 役場住民課税務・滞納対策係(☎82-1234)

保育料を滞納すると
児童手当から徴収されます

児童手当法では、児童手当から受給者の申し出を必要としない「保育料の特別徴収」が可能となっています。

特別徴収とは、児童手当受給者と保育料の支払い義務者が同一であり、特別な事由なく滞納が続いた場合に、町が受給者の申し出の有無に関係なく児童手当支給の際に、その手当から現年の保育料を徴収できるというものです。

特別な事由などで保育料の支払いが困難な場合は、必ず相談してください。

☎ 役場保健福祉環境課子育て・障がい者支援係(☎82-1232)

☎ 役場地域産業推進課(☎82-5962)

添田町就学援助費交付制度

町立の小・中学校に在籍する児童・生徒で、経済的な理由で給食費の支払いや学校用品などの購入が困難な生活状況にある世帯に対して、認定要件に該当する場合、費用の一部を援助します。



再就職のための看護技術セミナー(採血・注射編)

▼とき 2月12日(四) 13時30分

▼ところ ナースプラザ福岡(福岡市)

▼対象 福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業で6か月以内に就職を希望する看護職

▼定員 15人/受講料千円

▼申込方法 電話または福岡県看護協会サイトから申し込んでください

福岡県企画・地域振興部調査統計課(☎092-651-1111)

【軽減税率】個人事業者の皆さん 確定申告は注意を

令和元年10月から、消費税の軽減税率制度が始まりました。令和元年分の消費税の確定申告書を作成するためには、令和元年9月30日以前の税率と、令和元年10月1日以降の軽減税率8%と標準税率10%を区分して記帳した帳簿が必要です。

※詳しくは問い合わせください。

☎ 田川税務署(☎44-0430)

特別支援学校技能見学会、企業と教職員との交流会

県では、特別支援学校高等学校

福岡県ナースセンター(☎092-631-1221)

業務改善助成金

企業の生産性向上に資する設備や器具の導入、経営コンサルティングの実施などの業務改善を行うとともに、事業場内の最低賃金(事業場内で最も低い時間給)を30円以上引き上げる中小企業・小規模事業者に対し、その業務改善に要した経費の一部を助成します。



※詳しくは問い合わせください。

☎ 最低賃金賃金引上げのための業務改善に関する相談☎福岡県働き方改革推進支援センター(☎092-411-4578)

ありがとうございました(敬称略)

○添田町社会福祉協議会へ

▼香典返し ▼(故)畑田スズ子(下津野) ▼(故)田中ミヨ子(添田東) ▼(故)吉富アキノ(町二) ▼(故)大石隆士(町二)

▼(故)村上月子(桜橋)

○特別養護老人ホームそえだへ

▼慰問 ▼高橋浩月(町四) ▼坂本泰子(峰地) ▼伊藤麗子(添田中) ▼三九十七子(添田中)

▼田代律子(田川市) ▼添田町老人クラブ連合会

○錦風荘へ

▼慰問 ▼伊藤麗子(添田中) ▼三九十七子(添田中) ▼田代律子(田川市)

(令和元年12月13日現在)



添田町議会 Soeda Town Assembly

新年あけましておめでとう
ございます。年頭にあたり、
添田町議会を代表して、謹ん
で新年のごあいさつを申し上
げます。

町民の皆様には、希望に満ち
た輝かしい新春
をお健やかにお
迎えのことと心
からお慶び申し
上げます。また、
日頃より町政の
発展と議会運営
に對しまして、
温かいご支援と
ご協力を賜り、
深く感謝申し上
げます。

本町は厳しい
財政状況の下、
人口減少に伴う
過疎化や少子高
齡化、あるいは
基幹産業であり
ます、農林業に
おける後継者不
足や耕作放棄地
の増加、有害鳥獣による被害、
更にはJR日田彦山線災害復
旧といったさまざまな課題を
抱えております。

年頭のごあいさつ

新春



添田町議会議員 島田 勝廣

こうした中、地方分権の進
展に伴い、一層大きな役割を
担うことになる町議会が、活
発な論戦を通して審議の活性
化を図り、政策

令和二年を迎
えるにあたり、
私も議員一同、
本町の更なる発
展を目指し「よ
りわかりやすく、
開かれた議会」
となるよう鋭意
努力してまいり
所存ですので、
町民の皆様によ
り一層のご理解
とご協力をお願
い申し上げます。
終わりに、こ
の新しい年が皆様にとって実
り多い年になりますことを祈
念申し上げ、年頭のごあいさ
つとさせていただきます。